



私たちは、イベント企画型のツアー会社を設立し蓼科を舞台に、蓼科にもう一度来たいと思えるようになるツアー案を考察し、次のように提案する。蓼科には自然があり、有名なホテルがあるが、廃墟と化したホテルや無造作に放置された土地があり、土地をもてあましています。特徴としては、富裕層のリゾート満喫地、子供やお年寄りを対象とした自然観察やトレッキングなどが目立っている。しかし、そういった特徴だけでは現在以上の顧客をつかむのは厳しいと考えられる。よって、私たちは全く新しい顧客をつかめるようなツアー案を提案する。

そのツアー案のテーマは、蓼科を出会いの場とし、全国でも有名な出会いのスポットとして多くの人に足を運んでもらうことを目的とする。最近ではいろいろなメディアで婚活や街コンという言葉を目にする。つまり、世の中の人々は出会いやきっかけを欲しているということである。したがって蓼科に今までになかった出会いというイメージを創造することで、新しい顧客の確保を狙う。顧客の確保を狙うための新しいアイデアとして、わが社は次のアイデアをテーマと合わせて新しいツアーを提案する。そのアイデアとは、仮面舞踏会、サバイバルゲームの2つ。これらは一見、出会いとつながらないように思えるが、そういうものこそが新しい価値を生むものだと考えている。

最初に仮面パーティーのツアー案の詳細について、蓼科にはメルヘン街道というものがありメルヘンの意味は、妖精・小人・魔法使いなどが活躍する空想的な物語ということである。しかし、メルヘン街道にはメルヘンらしいものがなく、私たちが作るという考えに至り、それが仮面パーティーである。ターゲットは20代後半から40代に設定した。概要はホテルの大ホールを借りての立食パーティー、あるいはキャンプ場でバーベキューやキャンプファイヤーを行う。場所によって内容の変わるパーティーには欠かせないミニゲームを用意する。次にルールについて説明する。ルールは次の3つである。1つ目は、裏面にアドレスと電話番号を記入した仮面を着用し、ツアー終了時に仮面の交換をすること。2つ目は、ツアーの途中でアドレスや電話番号といった

連絡先の交換を禁止すること。3つ目は、少しおしゃれをして参加してもらうこと。最後にこの仮面パーティーの特典として、一つ目はカップル成立し、そのカップルが次回蓼科に来るときに使用できるリゾートホテルの割引券を付与する。もう一つは、参加日から期限を設け、期間内に入籍したことを報告してもらった場合リゾートホテルの挙式の割引をする。これらの特典で蓼科のリピーターが確保できるだろう。

次にサバイバルゲームの詳細について。サバイバルゲームとは、エアガン、BB弾を使って戦闘する戦争ごっこである。サバイバルゲームはゲームの内容だけに一部のマニアの人たちの遊びである。しかし、近年インターネットの普及によりサバイバルゲームの交流が盛んとなり、またエアガンの扱いが簡単になったことや女性のプレーヤーが増えたこともあり、プレーヤー人口が増加傾向になっている。しかし、サバイバルゲームはまだルールが世間に浸透しておらず、どのように楽しめばいいのかわからない人も多だろう。また、ゲーム自体は面白そうだが痛いのがいやという人もいる。以上の問題点を踏まえ、私たちは今までにない新しいツアーを提案する。私たちが提案するサバイバルゲームツアーは装備品の貸し出しとベテランの指導を受けることができ、このツアーを通して交流をすることができる。まず装備品の貸し出しについて、サバイバルゲームの初心者でも気軽に参戦することができ、経験者でも荷物が削減することができるメリットがある。次に、ここではベテランの指導があり、サバイバルゲームの初心者はルールを知らない人でも安心して参戦できる。経験者は自分の腕を上げるために利用することもできる。最後にプレーヤー間の交流の場として、のみの市を開催し、各地から取り寄せた中古のエアガンや手に入らないレア物のエアガンを売り買いできる場を設けたいと考えている。

サバイバルゲームをするには専用のバトルフィールドが必要であり、私たちが考えているフィールドは大きく分けて、室内フィールドと野外フィールドの2つである。まず室内のフィールドは、廃業したホテルの建物や土地の借用、その建物を利用できるように整備し、テーマに沿ってゲームを進める。野外フィールドでは使い道がない土地など利用し、また蓼科ならではの山や森を使い多彩なフィールドに仕立てる。安全面ではそれぞれのフィールドはサバイバルゲームに関係のない人や野生動物が立ち入らないように周辺に柵を作る。最後に雰囲気を出すために、シヨップや休憩所を作りテーマパークのような感じにする。

以上が、私たちの考えた蓼科プロデュース案である。